

「どうぶつの 赤ちゃん」

1 単元の目標と評価規準

目標：共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 身近なことに関する語句の量を増やしたり、意味による語句のまとまりに気付いたりしている。 ② 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。	① 事柄の順序に気を付けて読み、内容の大体が分かる。 ② 文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	① 学習の見通しをもち、文章の内容を比べながら読むことで、粘り強く友達に知らせようとしている。

2 教材について

中						はじめ
事例2(う)	事例1(し)	事例2(ライオン)		事例1(しまうま)		
⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
餌をとる 乳の期間 答え2	餌をとる 乳の期間 答え2	移動能力 答え1	親 目・耳 体 答え1	移動能力 答え1	親 目・耳 体 答え1	問い
おちちだけののんでいるのは、たった七日ぐらいで、そのごは、くさをたべるようになる。	生まれて二か月ぐらいは、おちちだけののんでいるが、やがておかあさんのとったえものをたべはじめる。一年ぐらいたつと、えもののと리카たをおぼえる。	生まれて三十ぶんもたたないうちに、じぶんでたちがあがり、つぎの日には、はしるようになる。	生まれたときは、やぎぐらいの大ききで、目は、あいていて、耳もぴんとたつていておかあさんにそっくり。	じぶんではあるけなからおかあさんに口にくわえてはこんでもらう。	生まれたときは、子ねこぐらいの大ききで、目や耳は、とじたまま よわよわしくて、おかあさんにあまりにいていない。	どうぶつの 赤ちゃんは、 (一)どんな ようすを しているのか。 (二)どのようにして、大きくなっていくのか。

本教材は、ライオンとしまうまを事例にあげ、赤ちゃんの様子について書かれた説明文である。ライオンとしまうまを「問い」の観点ごとに比べながら読む方法を学ぶことができ、他の動物についても興味が広がる内容である。

3 単元計画(全7時間)

次	時	学習目標	学習活動
第一次	1	「どうぶつの赤ちゃんクイズ」を楽しみ、教材文に興味をもつ。	○どうぶつの赤ちゃんクイズ ○「どうぶつの赤ちゃん」について知っていることを出し合い、話し合う。 ○教材全文を通読し、感想を交流する。
第二次	2	全体の構成をとらえることができ、「問い」を見付けることができる。	○全文を音読し、問いが何か、答え(事例)がいくつあるかを確かめる。 ○「はじめ、中、終わり」に分ける。
	3	2つの事例を読み、内容を理解し、「問い」に対する「答え」を見付けることができる。	【事例1 ライオン「①生まれたばかりの様子」】 【事例2 しまうま「①生まれたばかりの様子」】 ○「問い」の確認。 ○「大きさ」「目」「耳」「親との比較」の色分け ○実際の大きさを体感
	4		【事例1 ライオン「②大きくなっていく様子」】 【事例2 しまうま「②大きくなっていく様子」】 ○「問い」の確認。 ○順序が分かる言葉を確認する。 ○「移動能力」「お乳を飲む期間」「食べ物を取り始める時期」の色分け ○予想→読み取り
	5		
	6 本時		
	7	これまで学習してきたことを踏まえて話し合いをする。	○ライオンとしまうまの赤ちゃんの様子、大きくなっていく様子を比較し、感想を話し合う。

○「どうぶつの赤ちゃん」で学んだことを広げる(生活単元)

1	動物園の人によるオンライン授業でより詳しく「どうぶつの赤ちゃん」について知る。	○オンラインで動物園の人から「どうぶつの赤ちゃん」についての話を聞き、内容理解をさらに確かなものとする。
---	---	--

4 全力参加のための手立て

色分け

「移動能力」「お乳を飲む期間」「食べ物を取り始める時期」項目ごとに色分けをする。

→内容理解

予想させてからの読み取り

自分なりの予想をしてから本文を読み、比較しながら読み取る。

→情報と情報の関係理解

5 本時の展開(全7時間中の第6時)

本時の目標:しまうまの赤ちゃんの成長をライオンの成長と比較しながら読み取ることができる。

	学習活動	・指導上の工夫 ・▲個別の支援	評価規準 (評価方法)
導入 3分	1 挿絵を参考にしながら本時の「問い」を確認する。	・ペアで立ち、「問い」の確認をしたら座らせる。	
展開1 25分	2 ⑥⑦段落の音読で、問いに対する答えを探し読む。 しまうまの 大きくなっていくようすを ライオンと くらべて まとめよう。 3 しまうまの大きくなっていく様子を予想する。 T:しまうまの移動は、どうやってしますか? C:ライオンと同じようにお母さんにくわえてもらう。 C:30分もたたないうちに、自分で立つ。次の日には、走る。 T:ライオンは、どうだったけ?しまうまもライオンと同じじゃない? C:ライオンは、すぐには歩かない。 C:1年ぐらいかかる。 C:でも、しまうまは・・・ 4 本文の中に書かれているところから探して線を引く。 5 ワークシートにまとめる。	▲前時のライオンの大きくなっていく様子と比較しながら考えることができるようにする。 ・同じ観点で比べることの大切さに気付かせるため、どの部分とどの部分で比べるかを確認する。【焦点化】 ・【ゆさぶり発問】 ・キーワードを見付け、文章に線を引く。 移動の仕方→赤 お乳を飲む期間→青 食べ物→緑 ・線を引いたところをもとに表にまとめることができる。【視覚化】 ・敬体ではなく、常体で書く。 事柄の順序に沿って本文が書かれていることに気付けるようにする。	 考えたい しまうまの大きくなっていく様子を予想し、本文から見付け出すことができる。 (発言、ワークシート)
展開2 15分	6 ライオンかしまうまの赤ちゃんになれるとしたら、どっちの赤ちゃんになりたいか。 発表。	・読み取ったことをもとに自分だったらライオンとしまうまの赤ちゃんのどちらになりたいか考える。本文からの理由を明確にできるようにする。	 伝えたい
まとめ 2分	7 めあてのしまうまが大きくなっていく様子や話し合いを振り返る。		

6 板書計画

しょうま ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	 ライオンとしょうまどっちの赤ちゃんに になりたい？	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="432 275 568 483">たべもの</td> <td data-bbox="568 275 679 483">おちちをのむ きかん</td> <td data-bbox="679 275 791 483">いどうのしかた</td> <td data-bbox="791 275 900 483">なまえ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 483 568 714"></td> <td data-bbox="568 483 679 714"></td> <td data-bbox="679 483 791 714"></td> <td data-bbox="791 483 900 714">ライオン</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 714 568 969"></td> <td data-bbox="568 714 679 969"></td> <td data-bbox="679 714 791 969"></td> <td data-bbox="791 714 900 969">しょうま</td> </tr> </table>	たべもの	おちちをのむ きかん	いどうのしかた	なまえ				ライオン				しょうま	問 どのようにして、大きくなっていくのでしょうか。	めあて しょうまの大きくなっていくようすをライオンとくらべよう。	どうぶつの赤ちゃん
たべもの	おちちをのむ きかん	いどうのしかた	なまえ														
			ライオン														
			しょうま														
		本文															

7 授業観察の視点

- (1) 本時のねらいが達成されていたか。そのための指導法が考えられていたか。
- (2) 児童が全力参加する姿が見られていたか。
- (3) 分かりやすく、考えを深めたり広げたりするために有効な発問であったか。